



# STEP PROJECT

Professional	商品開発	「かつお節博士」からかつお節、だし、味覚を学ぶ。新しい商品やメニュー開発の研究	
		<p>【探究活動等アドバイザーからの御意見や御感想 など】</p> <p>企業において四半世紀にわたりかつお節に関わってきたのでSTEP PROJECTに参画する際に「かつお節博士」という過大な称号をいただき、それを目当てにこのテーマを選んでくれた生徒さんもいてたいへん感謝しています。かつお節という日本の伝統食を題材にしつつも、「せっかくだから大学でもやらないような記憶に残ることをやろう」という視点で「かつお節を使った、新しい脱・和食のメニュー開発」に取り組んでいただきました。もともと食に興味のある皆さんのことだから、こちらは大船に乗った気持ちで「アイデアはたくさん出す、他人のアイデアを決して否定しない」という条件だけを決めた後は見事に自主的に進めてくれました。</p> <p>今回の研究テーマのように、「既成の概念にとらわれないこと（脱・和食）」、「自分たちで主体的にやってみて確かめること（自主性）」、かつお節のメニュー開発以外にも将来必ず生きてくると思います。かつお節を実際に削った体験も含めて記憶に留めてくれていれればいいです。</p>	
<p>探究活動等アドバイザー（保育・栄養科）：</p> <p style="text-align: center;"><b>小澤 真 様</b></p> <p>ヤマキ株式会社 顧問 （御所属 令和4年9月26日現在） （元一般社団法人和食文化国民会議 「技・知恵部会」幹事）</p>			
<p>【参加生徒からの感想 など】</p> <p>ありがとうございました 忙しい中来て下さりありがとうございます。先生方のおかげで自分たちがしたいと思うことを見つけてことができ、研究することが出来ました。どうしたらいいか迷っている時、こうした方がいいよ、これはあまり良くないよと、理由と共にお話くださって理解ができ、考えを改善することが出来ました。約6ヶ月私たちに協力して下さい本当にありがとうございました。 新しい知識を学ぶ事ができた。ありがとうございました</p>			
<p><b>第1回</b> 来校(対面) 9月26日(月)</p>	<p>【オリエンテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小澤からのプレゼンテーション（パワーポイント使用） 一カツオ（原魚）～かつお節・だしを題材に、歴史・伝統産業・科学・栄養・食育・SDGs・商品開発・販売促進等に至るまで様々な視点を紹介し、各自の研究テーマ選択の指針とする。</li> <li>生徒の皆さんからの自己紹介： ・趣味・部活動・好きな食べ物・興味ある事・研究してみたいこと、等</li> </ul>	<p><b>第6回</b> 来校(対面) 11月21日(月)</p>	<p>研究を進めよう③： 試作：試作の第二回目。</p>
<p><b>第2回</b> 来校(対面) 10月17日(月)</p>	<p>① 生徒の皆さん・ ② 研究に関して、個別にテーマに取り組むか、全員を一つのチームとしてみんなで一緒にテーマに取り組むかを決めて、作業を開始する。</p>	<p><b>第7回</b> 来校(対面) 11月28日(月)</p>	<p>中間発表を行う。</p>
<p><b>第3回</b> 来校(対面) 10月24日(月)</p>	<p>研究テーマを決めよう①： 17日の作業を継続推進：メニューアイデアを出し、作り方や用意する材料を話し合い、調達する役割を決める。</p>	<p><b>第8回</b> 来校(対面) 1月16日(月)</p>	<p>・今回の研究成果について、小澤の方から「総合評価」をします。</p>
<p><b>第4回</b> 来校(対面) 11月7日(月)</p>	<p>研究を進めよう①： ・「脱・和食」でアイデアを絞り込もう。 ・メニューの考え方、作り方、材料を計画する。</p>	<p><b>第9回</b> 来校(対面) 1月23日(月)</p>	<p>・だし教室を体験してみようか。 ・かつお節を実際に削ってみよう。 ・自分で削ったかつお節で簡単にだしをとり、だしの有無で味がどんなに変わるかを体験してみようか。 *保育園等で同じことをするとどうなるか想像してみよう。</p>
<p><b>第5回</b> 来校(対面) 11月14日(月)</p>	<p>研究を進めよう②： 試作：みんなで考えたメニューを実際に試作してみよう。 メニューに見た目や味の出来栄を評価してみよう。</p>	<p><b>第10回</b> 来校(対面) 1月30日(月)</p>	<p>（最終まとめに向けた取り組み）</p>
<p style="text-align: center;">成果発表 令和5(2023)年2月27日(月) 大視聴覚教室</p>			